



中の
川よ
荒だ

青い雲



教育目標

「めあてをもち 自分で考え ねばり強くやり抜こう」

目指す生徒像：「あいさつがまんあとしまつ」ができる生徒

村上市立荒川中学校
令和4年度第4号
令和4年7月15日発行

1学期、大変お世話になりました

校長 渡辺 安治

六月末の大雨には多くの方が、身の危険を感じたのではないのでしょうか。その後、新潟県はじめ全国各地でも、例年より早く梅雨明けしています。真夏の暑さも続いています。体調を管理して元気に生活するために、水分を十分補給したり、適度に冷房を活用したりしながら猛暑と共に生活していきましょう。

七月六日、三年生で「SOSの出し方」に関する授業を実施しました。多くの生徒が思春期における悩みや心配事をもってきます。私たち大人も振り返ってみると、悩みが多い中学校三年間を過ごしました。勉強のこと、将来のこと、友達のこと、家族のこと、その他様々なことで悩むのが中学生の時期です。自分で気分転換したり、誰かに励まされたりして解消できればいいのですが、難しいときもあります。自分一人で解決が困難なときは、「信頼できる人に、勇気を出して、気持ちを正直に相談していい」と安心感を持ってもらうことが授業のねらいでした。私たち大人は、生徒が相談しやすい環境を作ることが大事です。アンケートを取ることもや大人から声をかけるとき、丁寧に言葉をかけることも配慮したいものです。この授業は、保内小学校・金屋小学校、村上市岩船郡内の中学校にも案内して授業を公開しました。

体調がいいと気持ちよく生活できます。よい体調を維持するには、十分睡眠を取ることが大事です。そのための生活改善に向けた「睡眠モニター週間」を七月に全校で実施しました。「夜は十一時までには布団に入り、朝は六時三十分までに起床する」という取組の期間中、生徒は各自のタブレットで生活の様子を入力します。終了後、全校のデータを集計して結果を保健だよりで知らせました。支援が必要な生徒には、個別に家庭に連絡して協力を願います。睡眠不足の原因として、ゲーム・スマホ等を利用したSNS・動画視聴などがあります。自分でコントロールできなければ勉強にも支障が出ることは明らかです。家庭でのメディアの使い方について話し合っていたらと思います。この機会に、よろしく願います。

地域の皆様からは、生徒の生活で危険な行いやマナーに反する行いなどを、その都度お知らせいただきました。お陰で今学期も大きな事故がなく、元気に休みを迎えることができそうです。生徒の命、健康・安全を第一とした教育活動にご理解ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。夏休みを充実させ、全ての生徒が、元気に二学期を迎えてくれることを切に願っています。一学期、誠にありがとうございました。